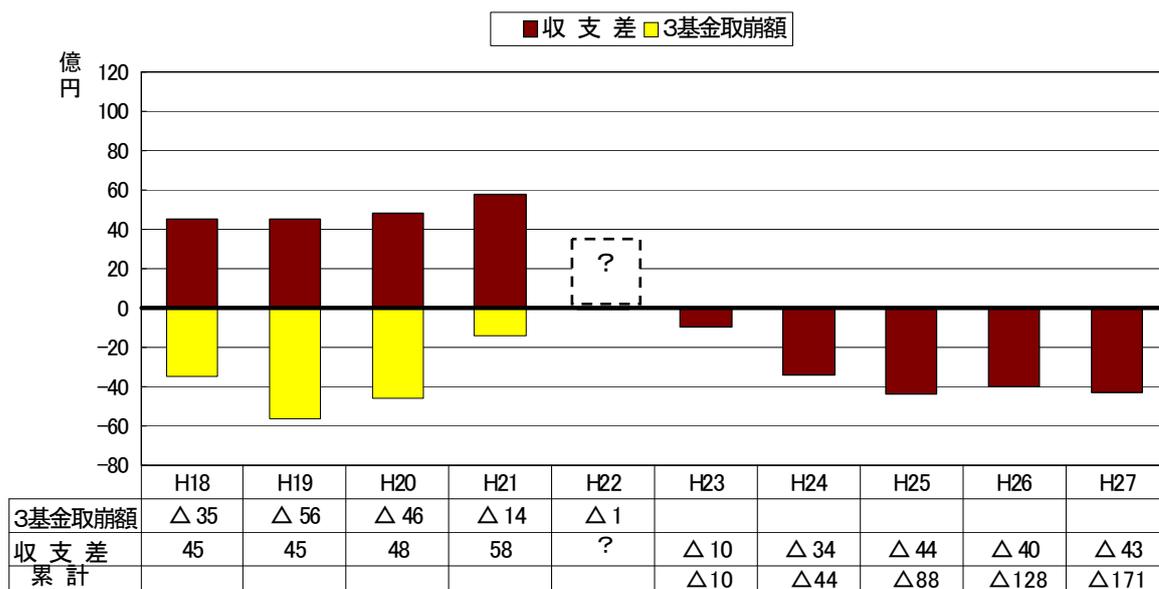


4 今後の収支見通し

(1) 5年間の収支見込み

【収支は5年間で171億円の不足】

- ・平成23年度の決算見込み等を元に今後5年間（平成23～27年度）の市の財政の見通しを試算。
- ・試算にあたっては、大規模事業等の重点化、進捗調整等をしないで集計し、また、財源調整のための基金を取崩さないとして見込んだもの。
- ・これによる今後5年間の収支不足は、171億円になると見込む。



過去の「岡山市の財政状況」における収支差の経過 (単位：億円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合計
第8版 (H18)	△45	△59	△51	△52	△30						△237
第9版 (H19)		△59	△72	△49	△33	△18					△231
第10版 (H20)			△40	△30	△43	△50	△47				△210
第11版 (H21)				△20	△28	△36	△50	△54			△188
第12版 (H22)					△17	△36	△42	△43	△40		△178

歳入						2,626	2,655	2,758	2,768	2,760	
歳出						2,636	2,689	2,802	2,808	2,803	
収支差 (H23)						△10	△34	△44	△40	△43	△171

今回の収支見通しは、昨年度作成した5年間の見通しに比べて、

- ・歳入では、東日本大震災の影響もあり、税収及び地方交付税は若干の減を見込むとともに、今後見込まれる大規模事業の推進による市債の増等を見込む。
- ・歳出では、平成27年度までに、少子高齢化の進展等の影響により扶助費が増となるほか、大規模事業の推進によって普通建設事業費が増となる一方、市債発行の抑制による公債費の減や職員数削減による人件費の減等を見込む。

【収支不足解消にむけて】

- ・今後5年間の収支不足の171億円については、今後も徹底した行財政改革に取り組んでいくことや、財源調整のための基金により収支を均衡させる必要がある。

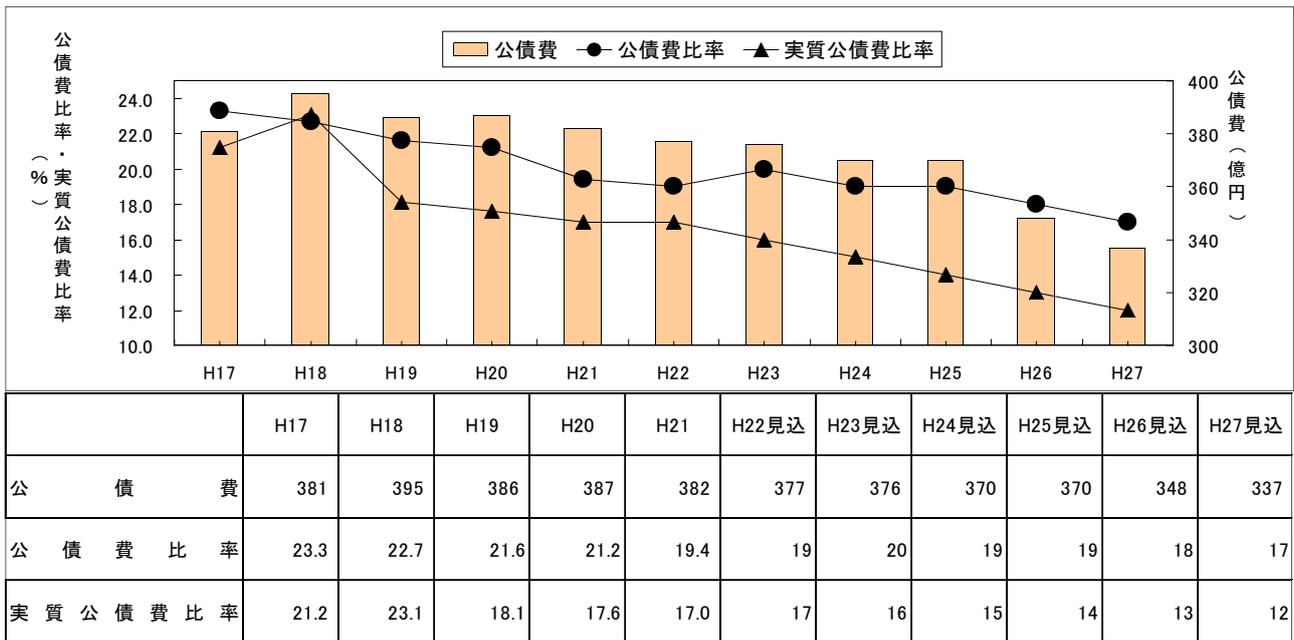
(注) この試算では、現行制度をもとに推計しているため、今後の動向によって、歳入・歳出が変更となる可能性がある。

(2) 今後の財政指標は、行革努力の継続によるさらなる改善が必要

今後5年間の収支見通しと合わせて財政指標を推計すると、公債費比率は平成17年度をピークに改善に向かうと見込んでいます。

また、実質公債費比率も改善傾向と見込んでいますが、「行財政改革大綱（長期計画編）」に定める目標値（平成27年度12%程度）を達成するためには、今後も通常債の発行を一定程度に抑制することが必要です。

公債費、公債費比率、実質公債費比率の見込



【公債費の推移には、留意が必要】

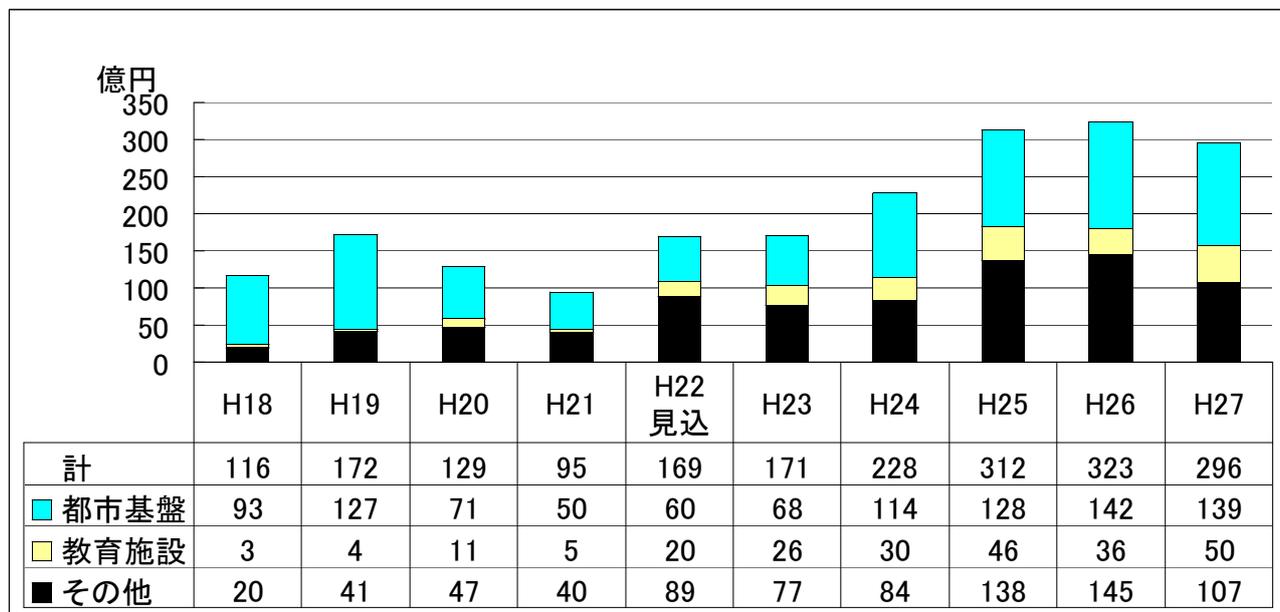
- ・公債費は増加を続けてきましたが、市債残高が総額、通常分ともに減少しており、平成18年度の395億円がピークになると推計。
- ・しかし、平成16年度と平成18年度の合併による市域の拡大や、政令指定都市移行に伴う国県道整備の増加、今後見込まれる大規模事業を考慮すると、平成28年度以降の公債費には留意が必要。

【公債費比率、実質公債費比率は改善傾向】

- ・公債費比率は、平成17年度の23.3%をピークに改善傾向。
- ・実質公債費比率は、平成18年度の23.1%をピークに改善傾向にあり、平成27年度には、「行財政改革大綱（長期計画編）」に定める目標値の12%程度になると見込む。
- ・今後も公債費の抑制のため、建設事業の重点化や進捗調整等を図る必要がある。

(3) 今後の大規模事業について

現在、岡山市では政令指定都市移行したことに伴う国県道に係る道路新設改良事業や市民の安全・安心を守る消防署施設や通信設備整備、安全な教育環境づくりに向けた校舎の耐震改修事業などの大規模事業を実施しており、今後も、合併に伴う新市建設計画事業、新市基本計画事業等をはじめ、市政の発展と市民の安全安心を図るため、着実に事業を実施する必要があります。



- ・ このたびの収支改定に当って、今後5年間(平成23～27年度)に予測される概ね10億円以上の大規模事業費を合計すると1,330億円となる。
- ・ 一方で、平成23～27年度においては財源不足が見込まれており、事業実施のためには、財源や財政バランスを考慮しつつ、事業の選択と集中や平準化、延伸などの進捗調整を行うことが必要と考えている。

主な大規模事業

都市基盤	道路整備事業（下中野平井線(旭川工区)、竹田升田線、岡山吉井線、藤田浦安南町線、西大寺山陽線 他）、広域河川改修事業(倉安川、永江川)、灘崎町総合公園整備事業 等
教育施設	岡山後楽館中・高等学校施設整備事業、足守地区の新しい学校づくり事業、学校園舎耐震改修整備事業、大廻小廻山城跡整備事業 等
その他	区役所整備事業、消防署・出張所の適正配置、消防・救急デジタル化整備事業、西部リサイクルプラザ整備事業、土地改良事業交付金 等